



やまぼうし



社会福祉法人 市島福祉会

認定子ども園 いちじま子ども園

〒669-4321

兵庫県丹波市市島町上垣138-1

(電) 0795-85-2330

(fax) 0795-85-2335

http://www.ichijima-kodomoen.com

子どもHP



<教育・保育理念>

受容・信頼・貢献感

いきよう

ちからいっぱい

ちびむらしく

まっすぐに

がんばる力

子ども達は興味のある事には驚く程の探求心と集中力を発揮します。できるようになりたい事にも自分なりの力を精一杯そそぎます。そんな子どもを見た時には「そんな事ができるようになったの？」と驚いたり「毎日繰り返しがんばっていたものね!」とその子のがんばってきた過程を認めたりして、丁寧にかかわるようにしています。

子どもたちにはもともと「がんばる力」がそなわっています。その力を十分に発揮するには繰り返しチャレンジできる環境と、そのがんばりを認めてくれる言葉がけが必要です。できるようになるまでの過程やその子なりの工夫をよく見て、丁寧に認めていくと、子どもたちの「がんばる力」が大きく膨らみ、その子の自信となり、自尊心や自立心にもつながっていくのです。

自分で食べるよ!



体をしっかり動かせるようになってきました。



こんなことができるよ!

靴をはけるよ!



ブロックでいろんなものつくったよ!



▲絵の具を使って絵を描いたり色を塗ったりしています。



運動あそび楽しい!



▲市民運動会には各地域へ参加予定です。ダンスを楽しんでいます。



倉橋惣三の言葉

春の日はなごやかに、

秋の日は硬い。

春の草は柔らかく、

秋の草は粗い。

春にやさしく迎えた

子どもたちに、自然は、

もうそろそろ此のくらい

の試練を与えようとしているのか。

秋の気は澄み、空は高い。

子どもたちをして一ぱいに

胸をはらせよ。

子どもたちをして高々と

上を仰がしめよ。

「育ての心」より

倉橋惣三(1882-1955)

「日本のフレイベル」あるいは「日本の幼児教育の父」と呼ばれる幼児教育学者。倉橋が展開した子どもの心に徹底的に寄り添い、子どもの遊びや自発性を重視した幼児教育論は、まさしく現代に通じるもの。誘導保育論が特に有名である。

